

盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 の取組等に対する意見と対応について

第 1 回盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議（H28.9.28）

第1回盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議（H28.9.28）

	意見の対象	委員の意見	対応
1	総合戦略の全般について	盛岡市の保育・子育て環境の良さを前面に押し出し、子育て世代などを呼び込むために、打って出る戦略が必要ではないか。	ご意見のとおり、人口減少への対策として、子育て世代を対象とした戦略を打つ必要があると認識しておりますが、まずは、市の持つ「強み」や「弱み」を調査・分析し、その結果を今後の戦略として生かしてまいります。
2	人口減少における社会動態について	人口減少の有効な対策を講じるためには、「25歳以降の県外転出の要因」を分析することが最重要である。	平成29年度に県立大学との共同研究を行う方向で調整しております。
3	人口減少における社会動態について	就職後の離職の状況が不明であるので、調査分析が必要である。	平成29年度に県立大学との共同研究を行う方向で調整しております。
4	人口減少における社会動態について	若者の県外転出について、都市部と待遇が異なる職種（看護師など）について、県外転出の理由や実態を調査する必要がある。	① 意見を踏まえ、大学等就職動向調査を実施しております。 ② 平成29年度に25歳以降及び離職に関して、県立大学と共同研究を行う方向で調整しております。
5	基本目標2「若者・女性がやりがいと魅力を感じられる仕事の創出」について	市の中心産業であるサービス産業について、労働生産性を高める必要があることから、施策を検討すべきである。	人口減少下での労働生産性の向上のため、RESAS（地域経済分析システム）の活用を含め、現状の分析を行い、施策を検討してまいります。
6	基本目標2「若者・女性がやりがいと魅力を感じられる仕事の創出」について	新採用を確保できない状況にあることから、地元企業への就職促進を図るため、都市部と地方の雇用・採用情勢を踏まえ、UIJターン者をターゲットにアプローチする施策を検討する必要がある。	ご意見のとおりと考えており、昨年度から首都圏でUIJターンのための地元企業との面談会を実施しております。 また、それ以外にも、地元企業の人材確保に向けたスキルアップが必要であることから、先行して取り組んでいる企業の取組を他の企業へも波及させ、首都圏等からのUIJターン者の就職へ結び付けるよう取り組んでまいります。
7	基本目標2「若者・女性がやりがいと魅力を感じられる仕事の創出」について	ワーク・ライフ・バランスの取組は、女性を対象とした施策となると、偏った考え方になり失敗する可能性があるため、注意が必要である。	ご意見のとおり、取組の対象が女性のみと誤解されないよう、働き方改革や長時間労働の抑制につながる職場環境の改善など、企業等におけるワーク・ライフ・バランスの推進に向け、取り組んでまいります。